



Washington Japanese Language School
ワシントン日本語学校

2024年2月3日発行 第33号

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org http://www.wjls.org/



[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411

冬来たりなば春遠からじ

校長 三原 洋一

「1月は行く」の言葉どおり、あっという間に2月です。2月は「如月（きさらぎ）」と言われ、また更衣着とも書くように寒さが厳しく重ね着をするという意味があります。そして、2月は節分の月でもあります。節分は季節の分かれ目の意味であり、特に「立春」の前日を指すようになった由来は、冬から春になる時期を一年の境と考えられたとも言われています。節分の豆まきは、中国から伝わった風習と言われ、合わせて節分の巻き寿司を食べる風習は、福を巻き込むという意味も込められているそうです。このように季節を上手に取り入れて、生活の中に活かしていくのは、日本人の知恵といえます。



さて、ここメリーランドでは、先週の20℃を超える温かさがうそのように、今週は、また、本来の寒さが戻ってきました。

しかしながら、子どもたちは元気いっぱいです。気温3℃ほどの冷たい風が吹く休み時間のプレイグラウンドに、元気な子どもたちの声が響きます。寒くても、外に出てしっかり



遊ぶ子どもたちの姿に、たくさんの元気をもらっています。

「冬来たりなば春遠からじ」とは、イギリスの詩人シェリーの『西風に寄せる歌』の一節です。寒くて辛い冬のあとには、暖かい春がやってくるという意味です。寒い寒いと首を縮めていた季節にも、少しずつ春が近づいてきています。

学校でも、この寒さを元気に乗り切り、希望の春を子ども達とともに迎えたいと思います。まだまだ厳しい寒さが予想されますので、ご家庭でも健康には十分なご配慮をお願いいたします。

また、毎朝どんなに寒い中でも、保護者の皆様には、毎週、子ども達の送迎を行っていただきありがとうございます。これ



から2月、3月と学年のまとめの時期となります。残り8日の授業日を、各ご家庭との連携のもと、教育活動全般に充実した指導を心掛けて努めてまいりますので、ご協力を宜しくをお願いいたします。

次年度幼稚部・小学部 1 年生

入学説明会の開催

先週は、次年度、幼稚部及び小学部への入学予定者への説明会を実施しました。学校からの説明の後、それぞれのご家庭と個別の面接を行いました。この面接は、派遣教員だけではなく、毎年、管理運営委員会の委員長や教育人事部を中心とした委員さんに協力をいただいて実施しています。具体的には、本校の概要説明と、保護者の役割、入学手続等について説明をさせていただきました。



本校の入学資格は、「日本の文部科学省の指定する教育カリキュラムに基づき、日本語により行われる授業を理解することができる程度の日本語の能力を有する」としています。つまり、「日本語で教科を学ぶことに特に問題を感じない子ども」ということになり

ます。日本語が第2言語であっても、「母語と同様に使いこなすことができる子ども」と言い換えてもよいと思います。平日、現地校で学んでいる子どもにとっては、高いハードルであると言わざるを得ません。



その中で、私からは、特に41日という限られた授業日の中で、効率的に教育効果を上げていくためには、「共働学習」が欠かせないことをお話しました。授業における「共働学習」は、本校独自のアクティブラーニングとして、日々の授業の中で子どもたち同士の学び合いを保障していくこと、また、家庭との「共働学習」は、学習計画表を毎週保護者の皆様にご提示させていただき、学校での学びや、宿題等を確実に把握していただくことで、お子さんの適切なサポートをお願いしたいことを強調させていただきました。さらには、家庭でも日本語を使うなど、できる限りの日本語環境を整えること、子どもが日本語の本に親しむよう努力すること等をお願いしました。保護者の皆様には、すべてはこどもたちの成長のためとご理解、ご協力いただきたいと思います。教職員一同、4月の新入児たちの元気な顔を見るのが待ち遠しいです。

